

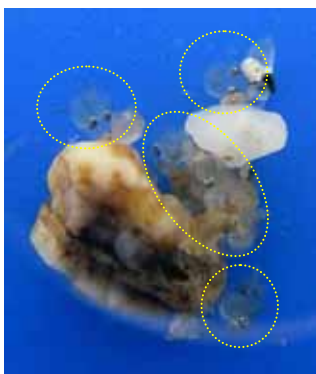
大和川にアユがもどってきたよ

大和川でアユがふえている

2005年5～7月、柏原市の大和川でアユが30匹見つけられました。これらのアユは、エラの上の耳^じ石^{せき}に海^{のぼ}から上ってきたアユだというしょうこがありました。きれいな

川にしか住まないアユがもどってきたという知らせは、大きなニュースになりました。

この年の10月には、河口の近くで7mmほどの仔アユ^しが約70匹見つけられ、1日に4万^{ひき}匹が生まれたといわれています。

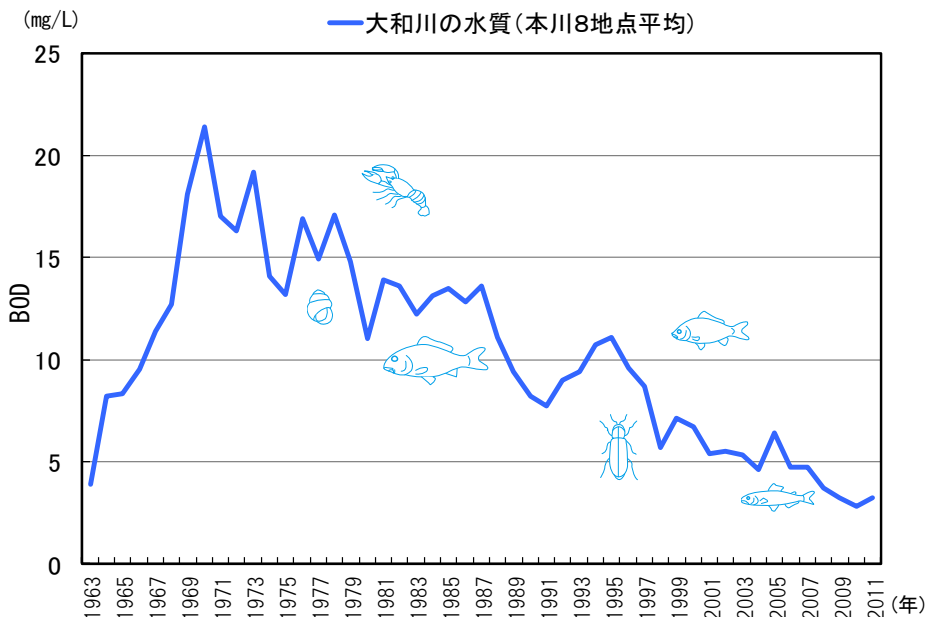


仔アユ（左）と仔アユにかえるすぐ前の卵（点線内） 2007年11月、柏原市河内橋^{かわちばし}近くの砂利^{じゃり}の中で仔アユになる直前の卵も見つけられました。大和川でアユがふえていることがわかったのです。

大和川の水質は？

大和川のまわりの市町村では、年々下水道が整備^{せいび}され、家庭排水^{はいすい}が直接川に流れこむことが少なくなりました。2009年3月の下水道普及率は奈良県で73.1%、大阪府で93.2%になりました。川がもともと持っている力を利用した浄化施設の設置もすすめられてきました。

アユが住める水質は、BOD 2～5 mg/Lで、その水質に近づいてきました。



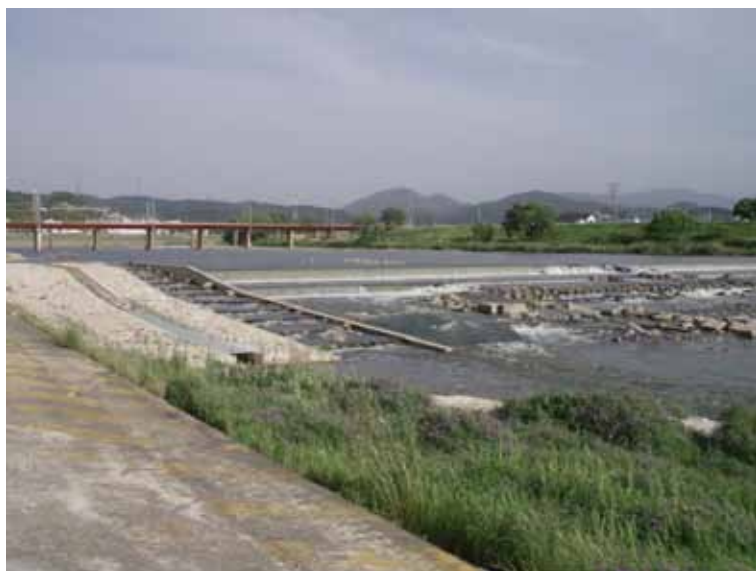
※ BOD
びせいぶつ
 (微生物が水中

のよごれを
ぶんかい ひつよう さんそ りょう
 分解するのに必要な酸素の量で、低いほどよい。

水道水として利用できる目安は、BOD 3 mg/Lです。)

ぎょどう 魚道をつくろう

川に段差があると、川を上げる魚はそこから先に行けず困ってしまいます。魚が自由に川を上れるように魚道がつくられ、海と川を行き来するアユがふえてきたようです。



柏原えん堤に 2010年3月に完成した魚道

(左がわのスロープ)

♥ 考えよう・調べよう ♥

Q 大和川にはどんな魚や生きものがあるでしょう？
 しらべてみましょう。